

SIM(社会生活の自立度評価指標) 令和7年度 結果公表(令和7年9月末現在)

1. 実数

1) SIM実施者数 (対象期間: R6年4月～R7年9月)

	人数
1回実施(利用開始時)	10名
2回実施(利用開始・利用終了時)	9名
合計	19名

2) 各項目の合計の平均

	平均	中央値	最大値	最小値
利用開始時	41.06点	39.00点	70.00点	17.73点
利用終了時	53.32点	49.07点	76.00点	39.00点

2. 各項目の差の平均

※平均利得とは、各項目ごとに「利用終了時評価 - 利用開始時評価の平均値」を算出したもの。

	項目	点数		平均利得
		利用開始時	利用終了時	
持毎 す日 るの た社 め会 の生 項活 目を 維	1. 健康管理	必須	4.75	5.23
	2. 金銭管理	必須	3.44	4.33
	3. 身の回りの管理	必須	3.91	4.56
	4. 買い物（買い物先までの移動を除く）	必須	3.70	4.82
	5. 家事活動（調理含まず）	選択	4.22	5.19
	6. 調理	選択	2.69	2.86
	7. 生活のセルフマネジメント	必須	3.00	3.89
た積社 め極会 の的の 項に一 目參員 加とし するて	8 (1) 公共交通機関を利用しての外出 (2) 自動車運転	1つを選択	3.44	4.33
	9. 人間関係	必須	3.11	3.11
	10. 仕事／学校	選択	2.78	4.89
	11. 地域での余暇活動	必須	2.33	2.33
	12. 日中活動	必須	3.56	4.33
	13. 制度・サービス活用	必須	2.22	3.33
	合計 (10～91)		43.39	53.32
				9.93

採点基準(以下は目安である。具体的には各項目の採点基準を参照)

自立	継続自立	7点	安定性や対応力が高い自立レベル
	自立	6点	現段階で自立している場合 (店員や窓口担当等に問い合わせる等、通常ある人的資源の活用を含む)
部分的支援が 必要	見守り 限定した活動状態	5点	見守り、日々の促し・助言が必要な状態 見守り等は必要ないが、限定的な活動となっている状態
	最小支援	4点	少しの支援を必要とする状態 (75%以上自分で行う)
	中等度支援	3点	部分的に支援を必要とする状態 (50%以上75%未満自分で行う)
全面的な支援 が必要	最大支援	2点	多くの支援を必要とする状態 (25%以上50%未満自分で行う)
	全面支援	1点	殆どの支援を必要とする状態 (25%未満しか自分で行えない)

※7点、6点は、自助具の活用や、自らが選択、利用、指示、調整して介助サービス等を利用する場合が含まれる。

※1点～4点の()内の「自分で行う」も、自助具の活用、自らが選択、利用、指示、調整して介助サービス等を利用する場合が含まれる。なお、選択項目の「5. 家事活動」「6. 調理」は介助サービス等の利用は含まれない。

※「〇%以上〇%未満」は、行えている項目の数や行えている程度の割合を基に総合的に判断する。

※実行状況の評価であるため、利用者の意思や意欲は大いに加味される。能力はあるが実行の意思が低く声かけが必要な場合も5以下となる。